

# 健康寿命の延伸 最大課題

柏崎市健康づくり推進会議会長 平野 実良



2010年から新潟産業大学経済学部専任講師。所属学会：日本福祉のまちづくり学会、日本地域学会、日本地域政策学会。14年から柏崎市健康づくり推進会議会長。55歳。

みなさんは「健康寿命」という指標をご存じでしょうか。健康寿命とは、集団の健康状態を表す健康指標の一つであり、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」のことです。従来は「平均寿命（0歳における平均余命）」が広く用いられてきましたが、現在は「健康寿命」が注目されています。我が国では、WHO（世界保健機関）が2000年に発表した世界の健康寿命ランキングで日本が世界一になったことから国民の関心が高まり、同年に策定された「健康日本21（第1次）」において「健

康寿命の延伸」を最大の目標とすることが掲げられました。現在健康寿命は「日常生活に制限があること」を不健康と定義し、3年ごとに実施される「国民生活基礎調査（大規模調査）」で得られたデータをもとに算出されています。日本は世界の中でも健康寿命が長い方ですが、平均寿命も年々長くなっているため、平均寿命と健康寿命との差が大きくなるのが懸念されています。平均寿命と健康寿命との差が大きくなると、介護が必要な期間が長くなり、個人の生活の質が低下します。それとともに、医療

費や介護給付費などの社会保険負担も大きくなります。2019年策定の「健康日本21（第2次）」ではこれまでの「健康寿命の延伸」のみならず、「平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加」、つまり「不健康な期間」である「平均寿命と健康寿命の差」の縮小が目標とされました。

2023年版高齢社会白書（図1）を見てみると、健康寿命は延伸し、平均寿命と比較しても伸びが大きい、という結果になっています。2019年の平均寿命は男性81・41年、女性87・45年となっています。一方、健康寿命は、同年時点で男性が72・68年、女性が75・38年となっており、それぞれ2010年と比べて伸びています。さらに、同期間における健康寿命の伸びは、平均寿命の伸びを上回っています。また、平均寿命と健康寿命の差（図2）を見てみると、2010年から男女とも、徐々に縮小傾向にあり、2019年には男性8・73年、女性12・06年となっています。

柏崎市においても健康寿命の延伸は重要な課題です。柏崎市では、2006年度から2015年度を計画期間として、青・壮年期を対象とした健康増進計画「健康みらい柏崎21」を策定し、各種取り組みが推進されました。その後、この取り組みをさらに発展させ、市民の健康づくりの一層の推進を図るべく、今後10年間（2016～2025年度）の健康づくりの指針となる柏崎市第2次健康増進計画「健康みらい柏崎21」（以下、健康みらい柏崎21（第2次））が策定されました。計画の位置づけは、図3のとおりです。

健康みらい柏崎21（第2次）では、対象を子どもから高齢者までの全ライフステージに拡大し、「健康寿命をのばそう」のスローガンのもと、「一人ひとりが健康

づくりの実践者、みんなで支え合い、笑顔でつながるまち」を基本理念に掲げています。そして、8分野にわたる取り組み方針により、市民を取り巻く地域、企業、関係機関、行政などが連携し、社会全体での健康づくりの推進を目指しています。

健康みらい柏崎21（第2次）には、次の四つの基本方針があります。

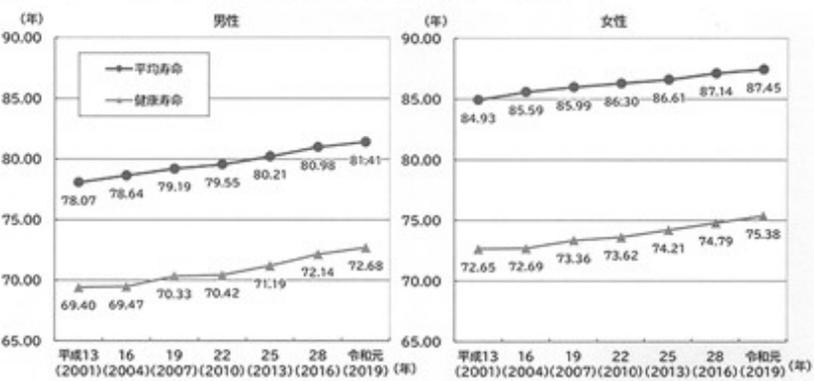


図1 平均寿命と健康寿命の推移 (出典：2023年版高齢社会白書)

### ずっと笑顔 健康寿命考える

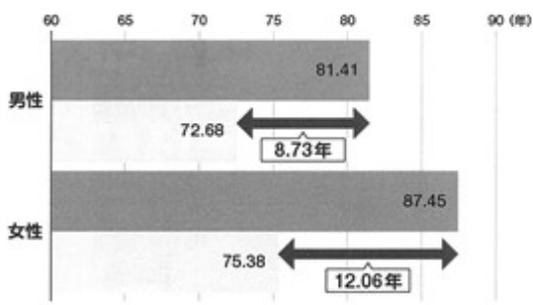


図2 平均寿命と健康寿命の差 (2019年)  
(出典：厚生労働省e-ヘルスネット)

- 1 喫煙・飲酒
- 2 歯・口腔の健康
- 3 身体活動・運動
- 4 喫煙・飲酒

(一) 生涯にわたる健康づくり  
子どもの成長を促し、乳幼児期から高齢期まで、年代に応じた心身機能を維持・向上するため、食事、運動、睡眠等、さまざまな分野において、望ましい生活習慣の定着を推進します。

(二) いのちを大切にすることを健康づくり  
この国の健康に関する知識を普及啓発し、地域や職場等で悩んだ時の対応や心の健康への理解を促進します。自分及および周囲の人の変化に気づき、助け合い、早期に相談を勧めることで、うつ・自殺を予防できる環境づくりに取り組みます。

(三) 生活習慣病の発症予防と重症化予防  
子どもの頃から生活習慣病に関する知識を普及啓発し、地域や職場等で悩んだ時の対応や心の健康への理解を促進します。自分及および周囲の人の変化に気づき、助け合い、早期に相談を勧めることで、うつ・自殺を予防できる環境づくりに取り組みます。

知識の普及と定期健診の習慣化を図り、疾病の予防と早期発見・早期治療を推進します。また、生活習慣病の重症化を予防し、認知症等の疾病や合併症を起さず、高齢期に介護が必要ない状態にならないよう介護予防に取り組みます。

(四) 健康を支え、守るための社会環境整備  
誰もが健康づくりに取り組みやすく継続しやすいよう、健康づくりを担う人材や団体、地域のさまざまな機関の特性を活かした連携・協働によって、健康を支える地域づくりを推進します。そして、この四つの基本方針にもつぎ、次の八つの分野に分類して取り組みが行われています。

1 栄養・食生活  
望ましい食生活のリズムと適正な量やバランスのとれた食事の実践を目指します。

2 歯・口腔の健康  
歯や口腔の健康を保つための生活習慣や食習慣を身につけること、かかりつけ歯科医を持ち、定期的に受診することを目指します。

3 身体活動・運動  
からだを動かす楽しさ、大切さを知り、自分に合った身体活動、運動の習慣化を目指します。

4 喫煙・飲酒  
「禁煙」や「適正飲酒」を実行し、たばこやアルコールによる健康被害の減少を目指します。

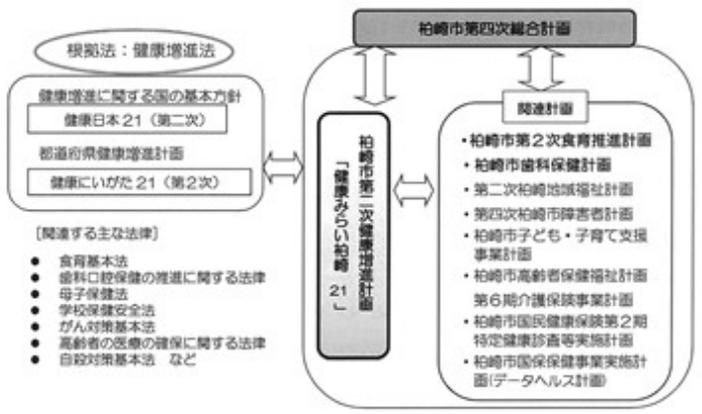


図3 「健康みらい柏崎21(第2次)」の位置づけ  
健康増進に関する国の基本方針「健康日本21(第2次)」から、都道府県健康増進計画「健康にいがた21(第2次)」が関係する主な法律として、食育基本法、歯科口腔保健の推進に関する法律、母子保健法、学校保健安全法、がん対策基本法、高齢者の医療の確保に関する法律、自殺対策基本法などが挙げられています。

「健康みらい柏崎21(第2次)」の位置づけ  
健康増進に関する国の基本方針「健康日本21(第2次)」から、都道府県健康増進計画「健康にいがた21(第2次)」が関係する主な法律として、食育基本法、歯科口腔保健の推進に関する法律、母子保健法、学校保健安全法、がん対策基本法、高齢者の医療の確保に関する法律、自殺対策基本法などが挙げられています。

「健康みらい柏崎21(第2次)」の位置づけ  
健康増進に関する国の基本方針「健康日本21(第2次)」から、都道府県健康増進計画「健康にいがた21(第2次)」が関係する主な法律として、食育基本法、歯科口腔保健の推進に関する法律、母子保健法、学校保健安全法、がん対策基本法、高齢者の医療の確保に関する法律、自殺対策基本法などが挙げられています。

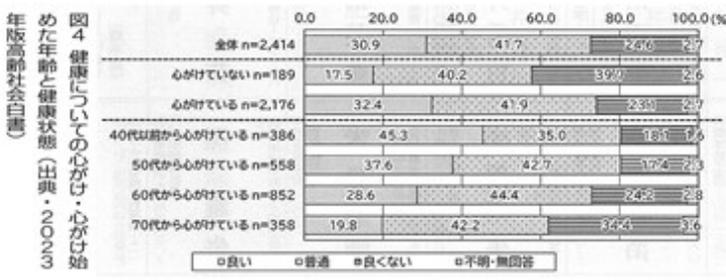


図4 健康についての心がけ・心がけ始めた年齢と健康状態 (出典：2023年版高齢社会白書)

健康寿命の延伸はみなさま自身にとって重要なことです。平均寿命と健康寿命の差は縮小傾向にあります。依然としてかなりの差があり引き続きの取り組みが必要ですが、健康寿命延伸に向けた取り組みといたって、中高年に向けた取り組みを想像するかもしれません。しかし、健康寿命の延伸を達成するためには、若い頃からの健康増進も大切です。まずは自身の健康に向け、意識を高め、取り組みやすいことから「少しずつ実践していただきたい」と思います。



# 綾子舞の指導者見習い中

池嶋 菜央さん（21） 市内久米

先輩が着付けをする姿に、「自分でひと通りできるようにしたい」と池嶋さん（右）



指導者見習いの池嶋菜央さん（左）。後輩に所作を教えたり、着付けの手伝いをしたりしたいと張り切る。2023年11月3日、綾子舞会館



ユネスコの無形文化遺産登録記念事業「綾子舞—AYAKOMA—轡川から世界へ」で行われたミニ講座「綾子舞の児方・扇の使い方」。池嶋さん（左）は長く継承されてきた所作などを披露した。23年7月18日、アルフォーレ大ホール

国指定の重要無形民俗文化財「綾子舞」に取り組んだのは、新道小3年生のとき。「近所のお姉さんが綾子舞を踊る姿に憧れて、迷わず伝承学習活動に参加した」と振り返る。以来、14年。「お世話になった方々に感謝し、今度は指導者として貢献したい」と意気込みを語る。

伝承学習では、最初に小歌踊「常陸踊」（下野）から入った。所作が細かく難しかったが、やめたいと思うことはなかった。常盤高校3年生まで踊り子として舞台に立った。2年生で東京・国立能楽堂での上演も経験し、「いろいろな舞台の中でも一番緊張した。今となってはいい思い出」と受け止める。

現在、新潟産大4年生。「指導者見習い中」と言い、「自分が教わった所作を子どもたちに伝えたい。年が近いので親しんでくれてうれしい」。着付けも見習い中で、「ひもの結び具合、踊り子の丈の合わせ方など勉強するところが多い」と研さんの日々。ユネスコの無形文化遺産に登録された綾子舞。「世界にもっと知ってもらえるようさらに魅力を発信できる一員になりたい」と意欲を見せた。

【地域活動の視点】

「人口減少の中でも  
幸せ感をはぐくむ」を考える

新潟産業大学附属柏崎研究所  
主席研究員 春日俊雄



【はじめに】

近年、日常生活を取り巻く社会の変化がますます早くなって、これまでの活動の仕組みや対応がうまく機能しなくなっている。人の生体例えと古い細胞を壊し、新しい細胞を生成して入れ替えながら機能を維持・持続しているように、地域社会も変化に対応した新たな仕組みや組織を生み出し、地域の持続を可能にすることが求められる。

【地域エコシステムの考え方】

エコシステムとは、もともと生態系の関係性を表す科学用語で自然界において同じ地域にいる生物や植物が互いに関わり合い依存しながら生きている仕組みをいう。ビジネスの世界では1990年代ごろから急速な技術革新やグローバル化を背景に、激化する競争に企業同士が互いに協力し、部品の製造、組み立て、販売等を行い、「業務システムの刷新」「経営の高度化」「迅速な対応」等によって成果をあげてきた。地域づくりの分野では、2011年に佐野淳也氏が「小規模自治体における内地的地域イノベーション・エコシステム」を「地域の生態系や文化をベースに、住民生活の基本的ニーズや住民の協力的な多様な主体の協働に基づく自律システム」と定義している。地方や農山漁村地域は人と人、人と自

然、人と文化・歴史の親密な関係性の中で地域社会の仕組みや組織が出来上がってきたところであり、急速な人口減少や超高齢社会等の激変に対応した新たな地域エコシステムに向けたアーニングポイントを迎える。

【提案—地域活動の視点】

当初設定のテーマは「人口減少の中でも元気な地域をつくる」だった。延べ30回にわたり、行政やコミセン、農業、商店街等の関係者にヒアリングや意見交換を行う中で「コトとしての活動の重要性がクローズアップ、結果として振り返った先に「元気な地域になっていた」というのが「地域発のコトづくり」らしい。次のような提案をまとめた。

- 一、地域の魅力(チカラ)をコア・魅力(み)せる。地域の魅力や価値を見出す、必要に応じて地域内のつながりをつくる、外とつながる若い人たちが既存の共同体が連携する
- 二、外の人とつながりをつくる
- 三、実際に試して見る。トライアンドエラー、情報の共有、ゆるいネットワークの構築

今後さらにさまざまな人との意見交換で、「地域活動の視点」が深化していくものと期待している。地域における先導的な事例を紹介したい。



別保地域「ビレッジプランワークショップ」

別保地域  
別保の未来を考える会

別保の未来を考える会は人口減少と高齢社会が予想以上に進む中で、2019年7月に地域コミュニティの希薄化や集落機能の衰微等に危機感を持った有志が設立。翌年の4月にはコミセン運営組織に「別保未来推進部」を創設。地域(ふるさと)づくり活動をスタートして4年目を迎えている。

- 住民アンケートを基に未来の姿を
- 住み続けたい魅力のある地域
- 自然が豊かで美しい地域
- 安全で安心な地域
- 経済力・生活力のある地域

の四つを柱として掲げ、その推進に向けて次の五つの部会を設けて活動している。

- 生活支援部会・持続可能な農業部会・魅力発信部会・ネット対策部会・継続案件部会

また同時に「新潟県地域づくりサポ

ート事業」の支援地区の認定や「新潟県ビレッジプラン実践事業」の指定に加え、23年4月には人・農地プランから引き継がれた「地域計画」を年度内に策定することとなった。行政や関係機関による伴走支援を得ながら地区として熱の入った取り組みを展開している。

時には、幅広い年代の意見を聴くために子どもから高齢者までの住民40人から

えんま通り  
えんま地域  
合同会社  
まちづくりえんま

2007年の中越沖地震で大きな被害を受けた、えんま通り商店街は震災直後から復興への動きが始まり、住民・商店街、行政、大学・専門家、地元建築士との4者の協働による復興活動で22年に事業が完了した。この活動推進役として合同会社まちづくりえんまは15年に商店街店主たちが設立した。

新型コロナウイルス感染症禍でも、えんま通り商店街では出店が進み、22年春には空き店舗「0」を達成して震災前の33事業者から47事業者へ大幅に増えている。

その一方で商店街に住み、そこで商売をする地縁の組織の担い手はほとんどいなくなり、商店街を運営する組合役員のなり手はなく、感染症禍前から組合の継続について検討してきた。そんな状況の中で、感染症禍の「えんまテラス」は、新たに商店街に出店してきた若い店主たちが中心となり、大いに盛り上がった。商店街の組合は23年、資金的な体力があるうちに新しい時代に対応できる組織

なるワークショップを開催して地域の将来像を検討した。

取り組みの成果として、「稼げる地域づくり」に向けた議論の活性化、「株式会社別保未来構想」の素案作成、女性や若者が参画する下地ができた。

これから冬を迎えるが、別保は未来に向けて熱い議論が更に続く。

(担当 小暮)

へ向かうため、前向きな解散をして、新たな組織形態と地域持続化に向けた行動を始めている。

市内の有志が同年末に駅前の空き店舗を活用して、柏崎の名産品や特産物などを販売するアンテナショップをオープン。えんま通り商店街にとって、柏崎駅を中心とした中心市街地全体の活性化、人口増加、景気上昇は商店街の持続化につながっていくと考え、まちづくりえんまもこれを支援していく。

(担当 長谷川)



えんま通りの地域「新世代」による「えんまテラス」の開催準備

矢田地域

株式会社 大日

2007年創設の農事組合法人矢田農事組合は昨年、株式会社大日に組織変更。株式会社への変更は、会社なら農業を志す人から選ばれる基準にもなると考えたからだ。名前は地域全体をイメージできるような近々の大目山からつけた。

作付けは米が主体で枝豆、プロッコリ、アスパラ、マコモタケ等々。農産加工にも力を入れており、各種漬物やマコモタケの葉を練り込んだまこもろんどん、乾燥にんにく、切干大根などを製造販売している。特に枝豆は、経済産業省の補助金を活用し、園ゆでして皮をむいた枝豆をマイナス55度で瞬間冷凍した商品化にこぎつけ、地元のお菓子メーカーや学校給食への導入が決まっている。



刈羽村産作 (自然直売所)

を得。ブランド化により首都圏の百貨店や高級スーパーへの出荷を実現した。24年度には、将来を見据えて効率化につながる大規模ほ場整備に着手する予定で、収入確保に向け、アスパラガスのハウス栽培をはじめた。販路についても地元や首都圏への出荷を目指している。ド



株式会社大日スタッフ

刈羽村

株式会社 孫作

孫作は、地域農業を持続的に発展させるべく2013年8月に設立した。その後、地域の信頼を得て農地集積を進めるとともに20年9月に刈羽村の備(もつ)かる農業応援事業の認定を受け、A・C・T農業機械のドローンやGPS田植え機、直売所設備などを整備することができた。経営面積も設立当初の12・5畝から22年度には21畝に拡大し、従業員4人で運営している。

有機JAS認証米や特別栽培米の生産

高柳地域

高柳農業振興会

高柳農業振興会は町内9集落が一つの広域協定で「中山間地域等直接支払交付金事業」を展開しており、近年は若い農業者との連携によるドローンを使った防除などスマート農業にも取り組んでいる。人口減少と超高齢社会の進行に伴って地域農業の維持・持続が大変になる中で、

公益社団法人中越防災安全推進機構と連携し、「アグリバス」とワークライズ②事業からなるプロジェクトで若い外部人材の受け入れに力を入れている。

3年前から実施している「アグリバス」は自らが目指す農村でのライフスタイルの実現に向け今年間のプログラム

に力を入れて付加価値を高めるとともに、いち早くドローンによる水稲防除作業を行うなど効率化を進めて、収益向上を図っている。

加工部門では、地域の女性を積極的に雇用し、自社の米やシャインマスカット、にんにくなどの加工品販売の拡大に向け、社内の直販ブースに加え、E・C・Cサイトを活用したネット通販を展開している。米粉のシフォンケーキは、米粉の特徴を生かして「もちもちふあふあ」で村内外にファンが多い。

そして、フェイスブック、インスタグラム等のSNSを活用した新商品等の情

ローンの導入も早々に進めてきた。有機栽培が盛んなヨロシバで使われ、作物のストレスを制御する農業資材のバイオ

スタイミュラントの試用にも活用するなど先端技術の導入を心掛けている。ほ場の大規模集積とともに、地域にあ



高柳農業振興会「アグリバス」コンバイン指導

で、①農業体験、自給農業の実践②自分らしい農村ライフスタイルの試行実践③リモートワークでの仕事持ち込みや収益を得る活動等々ができる。

現在9人の実習生を受け入れ、指導農業者の鈴木貞良さんや就農者の山崎智仁さん、矢代耕太さんをはじめ町内の多様

り型の実習プログラムである。参加者は市外、県外からも希望者があり、現地集合で昼食も自己負担が原則となっている。農作業は草刈り、電気柵の設置・撤去、稲刈りなど幅広い。受け入れ農家からのお礼はお金ではなく、1日当たり米5kgである。

農業体験はリピーターが多いが「ワークライズ」はリピーターが多く、お手伝いによる充実感という新しい価値を生み出した。

消費者のニーズを捉えた商品開発と販売促進により、年々売り上げが拡大して、主要部門の一つに成長したことが評価され、23年度新潟県優良農家経営等表彰事業の販売革新部門で受賞した。

今後SNSの活用など若者ならではの経営感覚を活かした経営発展や、村内の若手農業者と連携した地域農業活性化に向けた取り組みの進展が期待される。

(担当 山崎)

地域は人口減少や超高齢社会でこれまでのようにいかないことが出てきた。その一方で、先導的な事例に見られるように、まだまだワクワク・ドキドキできることも見えてきた。

24年2月25日午後、新潟産業大学講堂で「人口減少の中でも幸せ感をはぐくむ」をテーマに第8回柏崎学シンポジウムを予定している。誰でも参加でき、無料。

る「飯寺の棚田」も守り、次の世代につながるように地域のためになる農業を進めていきたい。

(担当 石橋)

# 産大レクチャー ●●● ア・ラ・カルト

〈195〉

経済効果という言葉は耳にすることがあると思います。例えば阪神優勝の経済効果がいくらであるとか、何々というイベントの経済効果が何億円にのぼったとか、あるいは「と」に「た」のように、経済効果という言葉はしばしば聞かれるのですが、では具体的に「経済効果」とは何か？あるいは「経済効果には何の金額（あるいは売り上げ？）がカウントされるのか」、さらには「経済効果とはどれぐらいの広がりを持つものなのか」といったような詳しいことは、実はあまりよく分かっていないと思います。

資料をひもとくと、数年前まで芸能人のGAC Kさんが参加して話題になった上越市の「謙信公祭」の経済効果が5億円程度、同じく芸能人の参加で昨年話題になった岐阜市の「ぎふ信長まつり」の経済効果が40億円程度といわれています（ちなみに観光客数はそれぞれ約20万人、約60万人です）。このように芸能人の参加するような祭りでは、各地からの宿泊客も多く、ホテルも満杯になったりします。経済

効果を測るときには、こうしたホテルの宿泊代などもカウントされます。宿泊代だけでなく、現地の観光客の飲食費や土産代、イベント入場料など、「現地に落ちるお金」を計算し、合計したものが「直接効果」です。

つに分けられます。一つは「第1次間接効果」とよばれるものです。以下ではまずこの効果について説明します。先ほどの「直接効果」が発生すると、さまざまな商品やサービスが（時期は前後しますが）生み出されます。

## 経済効果とは何か

黒岩 直

（ちなみに「直接効果」には、イベント開催にかかった費用、例えば「イベント会場の設営費」など行政が使った費用も含まれます。）

これらの「直接効果」に加えて、「間接効果」なる効果も発生します。そして「間接効果」は二

つに分けられます。一つは「第1次間接効果」とよばれるものです。以下ではまずこの効果について説明します。先ほどの「直接効果」が発生すると、さまざまな商品やサービスが（時期は前後しますが）生み出されます。

例えば焼肉で好み焼きの注文があれば、好み焼きが作られます。このときに材料としてさまざまなものを使ったり（例えば好み焼き粉）、何らかのサービスを利用したりするので（例えば運送サービス）、材料やサービスもまた使用されま

す。さらにこれら材料などの使用に伴い、またさらにその材料などが使用されます（例えば小麦粉など）。このように、「そもそもその需要」が「材料の需要」を生み、さらに「需要」を生み、そしてそ

れがさらに…という形で、需要の波及が生じます。こうした原材料への需要の波及効果を足していったものが、「第1次間接効果」です。なお経済学ではこの効果を計算する方法があり、レオン・チエフという経済学者（1973年ノーベル経済学賞）が開発した「産業連関分析」という手法を使うことで、この効果の計算ができます。日本ではさまざまな自治体がこの手法を使って経済効果を計算しています。

もう一つ、「第2次間接効果」という効果があります。これは、ここまでの効果によって生じた所得が、使われることによって発生する効果です。例えば、好み焼き屋の店主はその売り上げから得た所得を使って、居酒屋で飲んだり、レストランで食事をしたりするかもしれません。このように、所得が増えることによって発生する効果が「第2次間接効果」です（ちなみに、この効果

は飲食費に回ることが多いといわれています）。以上のように経済効果には「間接効果」なども含まれます。その他にも、地域の中で生じる効果と、地域の外に広がる効果を分けて計算することもできます（このように分け方は地域活性化を考える足がかりになるので重要ですが）。紙幅が少なかりましたが、新潟産業大学の黒岩直ミナールでは、柏崎の誇る「えんまし」の経済効果を計算すべく、日々奮闘しています。いつか皆さんの前で研究成果を発表できる日を楽しみにしています。

（講師）  
毎月1回掲載

# 留学生 満達さん最優秀

## 中央ロータリー 懸賞文コンテスト

柏崎中央ロータリークラブ(田村学舎長、会員数36人)が2023年度留学生懸賞文コンテストの表彰式を市内東本町のバル酒場「パビコ」で行った。最優秀賞の新潟県立経済学部2年・満達(マツダ)さん(23)らの研さんをたたえた。

同コンテストは2004年、歴大、工科大で学ぶ留学生から地域との交流、相互理解を深めてもらうことと設けられた。本年度は地域資源や農業、経済、国際交流などをテーマに、10点の応募があった。審査の結果、最優秀賞、佳作各1点、努力賞があった。田村会長は受賞者の研さんをたたえ、「独自の考えを持ち、素晴らしい内容を持った。柏崎の人たちと交流



柏崎中央ロータリークラブの留学生懸賞文コンテストの受賞者。前列左から3人目が田村会長、4人目が満達さん＝市内東本町1

を持ち、母国で柏崎や日本を伝えるべく」と述べ、受賞者一人ひとりに表彰状と副賞を手渡した。

審査員を務めた歴大の今田副教授は「学生たちはちゃんと調べ、単なる作文ではなく立派な論文だった。歴大の清川ゲンイ教授は「素晴らしい論文で差をつけるのが難しかった。今後とも力が盛り上がるように力をかけてほしい」と評価した。

同クラブの田中美実・国際奉仕委員長は「いずれも優秀のつけがたい論文だった。日本と母国の橋渡しとして、つながってもらいたい。論文がきっかけになればいい。伝統的な取り組みを続けていきたい」と述べた。

最優秀賞の満達さんは中国内モンゴル出身、昨秋来日した。「受賞は大変うれしい。柏崎の生活で見たことや感じたことを書いた。柏崎の人は優しく、困ったときに力になってもらえる。将来の夢は大企業で働き、中国と日本の架け橋になりたい」と喜びをかみしめた。

懸賞文コンテストの受賞者は次の通り。副賞は最優秀賞5万円、佳作3万円、努力賞2万円、参加賞5千

- 最優秀賞Ⅱ「柏崎市の魅力とその地域資源の活用について」満達(中国・歴大2年)▽佳作Ⅱ「柏崎市と歴大市における農業交流について」藤子健(同・工科大大学院1年)▽努力賞Ⅱ「柏崎市の観光業の現状・問題点とラホト市の観光業からの提案」海日華(同・歴大大学院1年)▽新潟工科大と新潟県立工科大学の異国及(おち)び展覧(喜重(同・歴大4年)▽電子商取引時代の柏崎市の発展について」姜尚昆(同・歴大4年)▽留学生からの感想と提言「日中の生活と柏崎地域の発展」李建業(同・歴大交換留学生)▽参加賞Ⅱ「友好的な人間関係を維持する方法」ムハンマド アブデル カリム モンタナロ(インドネシア・歴大4年)「私のふるさとから柏崎市まで」崔孝(中国・工科大3年)「最初のアルバイト」エンラト ウムル ナシヤントル(モンゴル・工科大4年)「日本とモンゴルの比較」トゥムルバートル アマルボルド(同)

# 『新治産大スゴい』 地域に学ぶ 地域を学ぶ

— 史跡活動レポート —

## 留学生が考える 柏崎の魅力と 発展の可能性

新潟産業大学は柏崎中央ロータリークラブと連携し、新潟工科大学と本学の留学生を対象とした懸賞文コンテストを毎年行っている。

同コンテストの目的は、留学生が母国と日本の相互理解に基づいた両国の経済発展と文化交流の可能性などについて新しいアイデアを提案すること、故郷との絆をよ

り深めるとともに、柏崎の地域活性化にも貢献してもらうことを目的としている。

20回目の開催となった今年も、両大学合わせて10人の留学生から応募があり、先日行われた表彰式では本学のマンダさん（2年・中国出身）が優秀賞を受賞した。

マンダさんは昨年10月に来日し、本学へ編入学したばかりで同コンテストに参加。「柏崎市の魅力とその地域資源の活用について」をテーマに執筆し、外国人の視点で柏

崎の持つ魅力を述べただけでなく、SNSを活用した情報の発信方法や新たな観光資源の開発を提案した。

受賞を受けてマンダさんは「このコンテストは留学生が日本の生活で感じたことや自分の考えを表現できる貴重な機会だと思い応募しました。作品を通して、柏崎の異文化理解がより深まればうれしいです」と笑顔で語ってくれた。

本学の国際センター長である細川ケイ教授は「主催者である柏崎中央ロータリークラブのご配慮には大変感謝しています。参加した留学生たちが取り上げたテーマは素晴らしい。母国語ではない日本語で書き上げた文章は、みなさんの成長意

欲の高さを感じさせます。このような活動は地域活性化と多文化共生のまちづくりに繋（つな）がると信じています」と振り返った。

くの外国人観光客が日本を訪れており、その数は今後も増加すると予想される。留学生のアイデアが柏崎の国際化推進に貢献できれば幸いだ。

（同大学 国際センター）



マンダさん（左）と柏崎中央ロータリークラブの田村会長

# 優秀体育人表彰に453人 (上)

## 市スポーツ協会 23年の功労賞に2氏

市スポーツ協会(本間敬博会長)によると、2023年の優秀体育人表彰が決まった。体育功労賞、指導賞、スポーツ栄誉賞、優秀競技者賞などに個人・団体で延べ453人が選ばれた。

体育功労賞は坂井和之氏(市スポーツ協会)と小池純義氏(ストリートスケータブル)が受賞。同協会の会長を6年間務めた坂井氏は、2016年の協会法人化に尽力したほか、一昨年(2022年)の創立100周年に際しては記念事業などを推進した。柏崎水上競技連盟会長の小池氏は水上競技の普及に尽力。自身も競技者のカテゴリーでは、学校教育で教習の指導に携わるなど、県内の競技普及の基礎を築いた。

指導賞には、市障下鏡技協会の川尻優吉さん(中道小学校長)、柏崎刈羽エルフ協会の野村浩秋さん(藍天附属校)が選ばれた。県大会優勝者を輩出するが、シジュニア世代の育成などに力を注いだことが評価された。スポーツ栄誉賞には、空手家の山崎シユニア選手(柏崎)

会長の山崎選手(4位)に入賞した柏崎空手道協会の佐々木誠さん(柏崎)が選ばれた。体育功労賞、指導賞、スポーツ栄誉賞の表彰式は18日に陸文会館で行われる。新年度スポーツ大会の閉会式も兼ねられる。この他の受賞者の発表は2月11日(土)の通りか、この内報に掲載。

【体育功労賞】坂井和之(市スポーツ協会) 小池純義(ストリートスケータブル)

【指導賞】川尻優吉(中道小学校長) 野村浩秋(藍天附属校)

【スポーツ栄誉賞】佐々木誠(柏崎空手道協会)

【優秀競技者賞】  
陸上▽小山風香(翔洋、陸上) 小池純義(ストリートスケータブル) 山崎シユニア(空手) 水崎アキラ(水泳) 梅村寛行(柔道) 高田博希(前野拳紀) 野田一成(成林和希) 新田一

【優秀競技者賞】  
取部聖葉、牧野敏、佐藤陽生、桑原甘ん、品田大輝、長門玄城、小笠原優樹、水野航、斎藤秀司、金日本シユニア選手権8位▽ブルボン区17歳以下女子、細森海穂、佐藤由成、山田翠、林平木貴、中井美咲、牧野香、武石純羽、長門郁樹、本間心香、南下梨海、駒野未希、同3位▽ブルボン区中学女子(福口真彩、武石純羽、長門郁樹、本間心香、駒野未希、三宮葵菜、竹内乃咲、武田明莉、堀田佳穂)、同全日本JOCシユニアオリンピック夏季大会

【優秀競技者賞】  
陸上▽藤野(中山結太、木村早也、市川瑞輝、白井悠志) 県高校総体男子1600リレー3位▽藤野(大瀧功雄、白井雄飛、市川瑞輝、木村早也) 北陸選手権400リレー2位▽藤野(野沢登樹、藤野一

【優秀競技者賞】  
桐山優斗(小島優斗) 北信越高校選手権女子200リレー2位▽藤野(市川結太、米山望、宮居一樹、井口陽向) 同1600リレー1位▽藤野(市川結太、米山望、宮居一樹、井口陽向) 同200リレー3位▽藤野(市川結太、米山望、宮居一樹、井口陽向) 同400リレー2位▽藤野(市川結太、米山望、宮居一樹、井口陽向) 同800リレー1位▽藤野(市川結太、米山望、宮居一樹、井口陽向)

【優秀競技者賞】  
藤野(池田麻那) 藤野(北信越高校選手権女子200リレー2位▽藤野(市川結太、米山望、宮居一樹、井口陽向) 同1600リレー1位▽藤野(市川結太、米山望、宮居一樹、井口陽向) 同200リレー3位▽藤野(市川結太、米山望、宮居一樹、井口陽向) 同400リレー2位▽藤野(市川結太、米山望、宮居一樹、井口陽向) 同800リレー1位▽藤野(市川結太、米山望、宮居一樹、井口陽向)

【優秀競技者賞】  
大橋巧、木戸拓哉、鈴木健太郎、中山一樹、水谷優、須田崇仁、藤野龍一、山田大翔、村山健、渡辺莉央) 同中部日本都市短距離選手権3位▽比内コーリンデン(アヤメ) 江原士真、関孝、杉田雅司、佐藤健、佐藤健、林祐成、土田勇斗、和田三栄、渡辺翔、藤永篤人、村山寛、藤野周、佐藤翔太、板谷拓巳、佐藤大、田中裕彰、佐竹さくら、江尻麻也、目黒博、皆川悠菜、藤澤依歩、佐藤翔、関孝) 同全日本学生選手権大会3位▽柏崎STARS(江原士真、中野拓希、幸澤博、関孝、藤野龍一、伊藤健明、菅沼健、藤野龍一、山川義輝、坂口周平、江部颯汰、庭山太隆、近藤河、中村孝輝) 同全日本学生選手権大会3位

北信越大会之位





120人が集まったザ・国際ウインターフェスタ。フースの一つ、琴の演奏体験も人気を集めた  
市民プラザ

# 多文化体験 楽しく交流

## 国際化協会 ウインターフェスタに120人

柏崎地域国際化協会の多文化理解講座「ザ・国際ウインターフェスタ」が市民プラザで開かれた。約120人が訪れ、琴の演奏や書道体験、餅つきなどで交流のひとときを楽しんだ。

フェスタは、日本、中国、韓国の文化を体験してもらうことが狙い。21日の会場には、なわ細工、書道、琴演奏などの体験ブースが設けられた。また韓国、中国の衣装や伝統的な遊びなどが紹介された。

琴の演奏は初めてというインドネシアからの介護実習生・リンタさん(25)は「難しいけれど、面白い。日本独特の音色を感じた」と言い、「書道も初めて。墨で『幸せ』と書いて、作品ができたときは感激した。こういう交流会は楽しい」と話した。

小銭を布で包み、それを蹴って遊ぶ韓国の伝統ゲーム「ジエギチャギ」をした半田小1年・蒼原阿夢君は「初めてで楽しかった。餅つきも良かった」と笑顔。父親の鳥瑠吉さん(46)は「琴の演奏、なわ細工などなかなか体験できない貴重な機会になった」と一緒に楽しんだ。

フースを担当した新潟産大書道部の本間才揮部長(3年)は「海外の人には漢字が難しく、墨絵を描いたり、ひらがなを書いたりして楽しんでいた。書道を好きになつてもらえたらいい」。三井田史夫・同協合理事長(66)は「いろいろな国の伝統文化を知ってもら

い、行動に結びついたらいい。イベントを通し、楽しく交流していきたい」と見守った。

# 産大レクチャー ●●● ア・ラ・カルト <196>

朝鮮半島は、918年の高麗建国から約千年統一国家が存在し、36年間日本による植民地支配を経て、1948年に大韓民国と北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)の二つの国家に分断された。住民は単一民族で、分断後も西国は民族の統一を志向し、そのために時には戦争と対立、時には平和と協力の歴史を繰り返してきた。ただ、そこで

け30分遅らせた「平壤時間」を実施したのを皮切りに、17年11月からは、父親の金正日総書記の「わが民族第一主義」に替えて民族を国家に置き

『政権崩壊』や『吸収統一』の機会を狙う。韓国政府を「和解と統一の相手にみなすことは、これ以上我々が犯してはならない錯誤である」と韓国

存在し、文化的影響が南から北に及んでいることに脅威を感じた金正恩総書記が、韓国と距離を置こうとしたというのだ。

今後、北朝鮮は韓国を同族ではなく、敵対する国家とみなすことで「遠慮なく核攻撃をしやすい」という分析もあるが、北朝鮮の核攻撃は「政権の終末を意味する」とアメリカ政府が重ねて宣言しているなかで、そのような単純な論理は成り立たないだろう。

## 激動の朝鮮半島、 南北関係の現住所

蓮池 薫

不変だったのは、西国の政府・国民ともに、南北関係が同じ民族の特殊な関係であり、普通の国家関係とは違つという認識だった。とてんが、北朝鮮では、金正恩政権が登場してから徐々に南北関係を民族関係から国家関係へと転換させようという動きが見え始めた。

「我々を『主敵』と宣言し、外部勢力と野合して

るに至つたのである。このニュースは韓国に大きな衝撃を与えた。こうした転換の理由について金正恩総書記は、「我々を『主敵』と宣言し、外部勢力と野合して

今後、南北関係がますます対立の度を増してい

(特任教授)

毎月1回掲載

# 「新治大学」

## 地域に学び

### 実践活動レポート

#### ライフセーバー 使命を伝える

新潟産業大学には数ある強化指定部の一つにライフセービング部がある。同部は海や水辺での水難事故の発生を未然に防ぎ、万が一事故が起こった際には救助を行うライフセーバーとして活動をしている。

柏崎市内4カ所の海水浴場で監視活動をメインに海の安全を守っている。また、日々救命技術と競技力の向上を目指し練習やトレーニングに取り組みっており、昨年10月には第49回全日本ライフセービング選手権大会にも出場した。

内陸で海がない長野県の生徒たちは熱心に学生の話に耳を傾け、水難事故の危険性を肌で感じるとともに、海水浴場にライフセーバーが常駐していることの必要性を認識した。授業後、講師を務めた掛川航喜さん(1年)は「私たちの活動を知ってもらおうと、生徒たちにライフセーバーを将来の選択肢の一つとして示すことができたいと思います」と振り返ると、田中夢翔さん(1年)も「初めて指導をする立場にな



りましたが、人に教えることでまた一歩成長できたと感じます」とそれぞれ手応えを感じている。昨年の夏、柏崎市内の海水浴場には約33万人が訪れにぎわいをみせた。

利用者が安心して過ごすためにはライフセーバーの存在が必要不可欠である。「海の柏崎」の安全に本学も貢献したい。(同大学地域連携センタ

現在所属している部員は4名と多くはないが、毎年海水浴シーズンになると、多くの方が訪れる

先日、同部の部員2名が本学のグループ校である第一学院高等学校長野キャンパスで出張授業を行った。

# 柏崎中央ロータリークラブ 留学生懸賞文コンテスト

## 優秀賞

### 柏崎市の魅力と その地域資源の活用について (上)

#### 満 達

(新潟産業大学 経済学部  
文化経済学科2年)

#### はじめに

柏崎市は新潟県内では  
大きい町の一つである。  
新潟県の海岸沿いのほぼ  
中央に位置し、米山・黒  
姫・八石の刈羽三山に囲  
まれた刈羽平野(柏崎平  
野)に立地している。中  
心市街地は砂丘上に作ら

れ、発展した。稲作が盛  
んであり、市街地から離  
れると田園が広がってい  
る。私はこの10月に新潟  
産業大学に入学し、この  
柏崎市で暮らすことにな  
った。

I. 柏崎市の魅力  
I-1 自然  
柏崎市は山と海に囲ま  
れており、四季折々の美  
しい景色が広がってい  
る。夏はマリンスポーツ  
や海水浴で賑わう。また、  
自然を満喫できる「柏崎  
・夢の森公園」があり、  
米山を登山して自然を  
探検できる山々もある。  
しかし、高層ビルや便

利な交通手段(タクシー  
や地下鉄)がある都市と  
違って、柏崎は交通手段  
の選択が限られている。  
それに、ナイトクラブな  
どの娯楽施設や開催され  
るイベントも非常に少な  
いと感じる。だが、ここ  
に住む人々に感じる大き  
な優しさや、心が落ち着

く町の静さも大切である。  
また、ここは人と人、人と  
自然の交流、及(およ)  
び共生の場としての空間  
である。  
その例として挙げられ  
るのは「全国町村田舎ラ  
ンキング」住んでみたい  
田舎」で第2位に選ばれ  
た高柳町の「じよんのび  
村」である。のどかな田園  
風景の中に、昔ながらの  
かやぶきの民家が建って  
いる。農村の原風景と農  
村の暮らし、営みを活用  
した新しい交流・観光産  
業を打ち出し、住民の知  
恵と行動力で年間24万人  
の観光客を迎えている。  
I-2 歴史的な文化  
遺産

柏崎市には多くの歴史  
的な建築物や文化遺産  
が残っており、地域の歴  
史や文化を体感できる。  
柏崎市には指定文化財が  
216件(国指定11件、  
県指定25件、市指定18  
0件)、国登録文化財が  
19件ある。柏崎市の古典  
芸能「獅子舞」はユネスコ  
無形文化遺産として有名  
で、毎年9月に柏崎市で  
演じられる。小歌謡、囃  
子舞、狂言の三種に分か  
れ、小歌謡は長いたもと  
の振袖にだらりの袴、ユ  
ライと称する赤布を頭に  
かぶった少女の舞踏で、  
初期の歌舞伎踊を知る上  
で重要である。また囃子  
舞、狂言も芸能史的に価

値が高い。他にも多くの  
建造物や絵画などがあ  
り、書籍などでも柏崎を  
もっと知ることができる。  
I-3 地域特産品  
柏崎市は米や魚介類な  
どの農産物や水産物の産  
地として知られている。  
笹団子や「網代焼」などの  
菓子は新潟県において有  
名な名物である。これら  
の地域特産品は地域の食  
文化を豊かにしており、  
観光客にも人気がある。

II. 柏崎市の地域資源の  
活用方法  
II-1 地域PR活動  
の強化  
柏崎市の魅力を伝える  
ために、地域のイベント  
や祭りのPRを行う。ま  
た、インターネットやS  
NSなどを活用して情報  
を発信することも重要で  
ある。今まで通りの手段  
に限らず、別ルートを開  
発して行くべきだと考え  
る。有名テレビ局のテレ  
ビ番組などで柏崎の魅力  
的なところを定期的に放  
送してもらうのも一つの  
アピールになるだろう。  
また、YouTube など  
やTikTokなどで  
柏崎を生中継などとして、  
もっと多くの人に知って  
もらい、もっと活発に情  
報発信をし、国内だけで  
はなく、観光客となる外  
国の人々にも情報を届け  
なければならぬ。